

3 質問紙調査 * 数値は「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」を合わせた割合 (%)

1 望ましい生活習慣に関する内容について

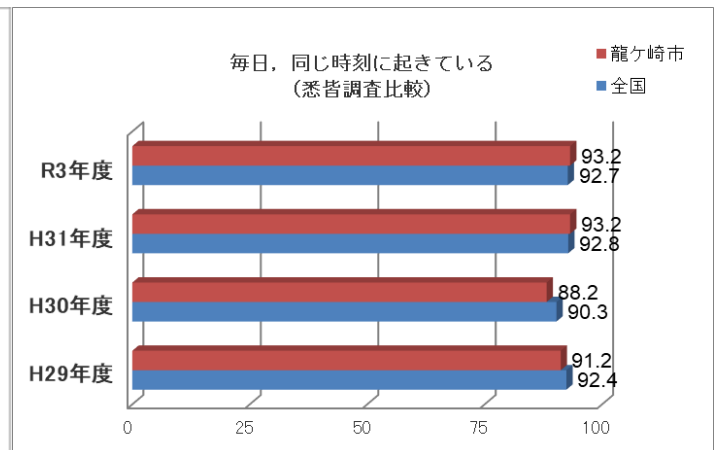
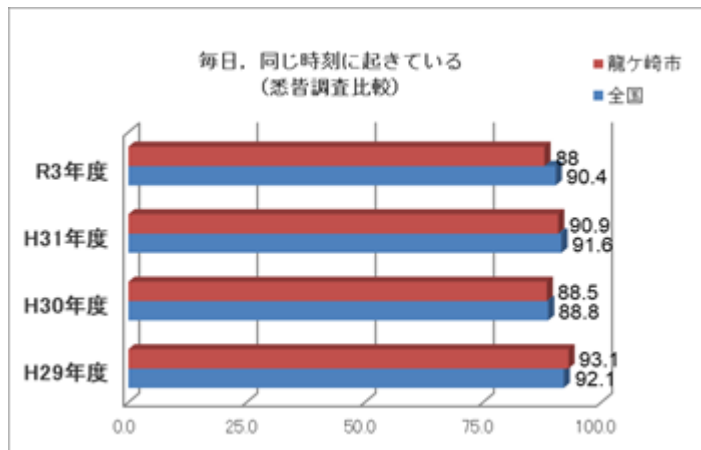
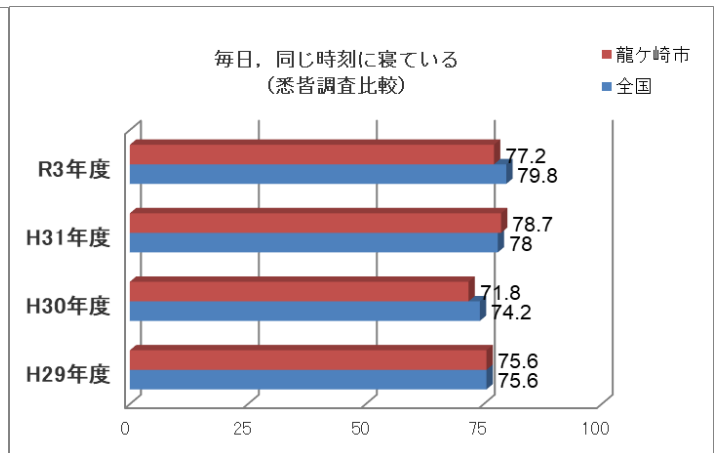
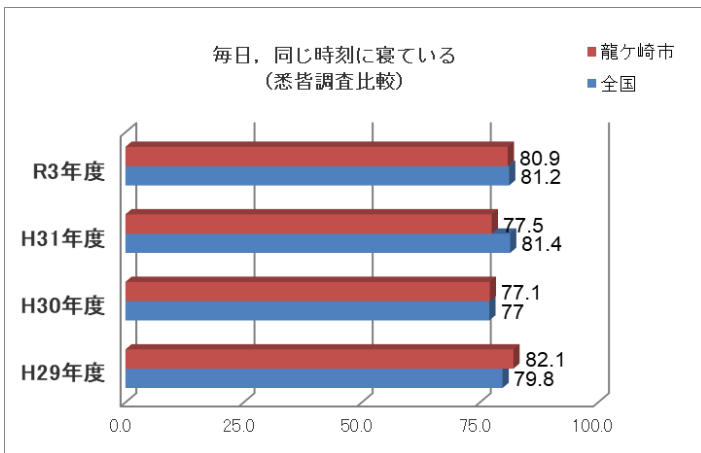
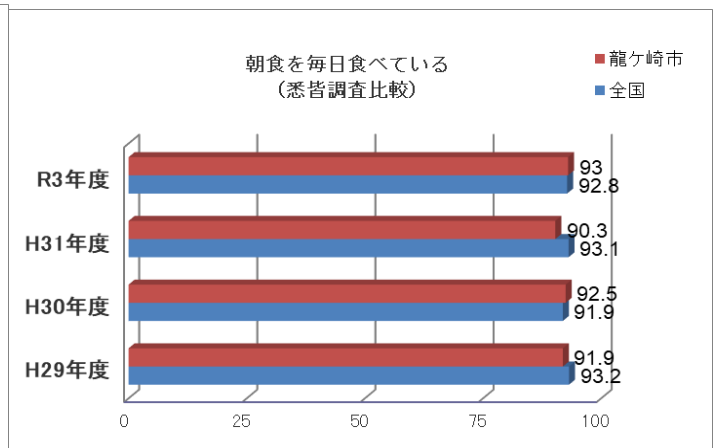
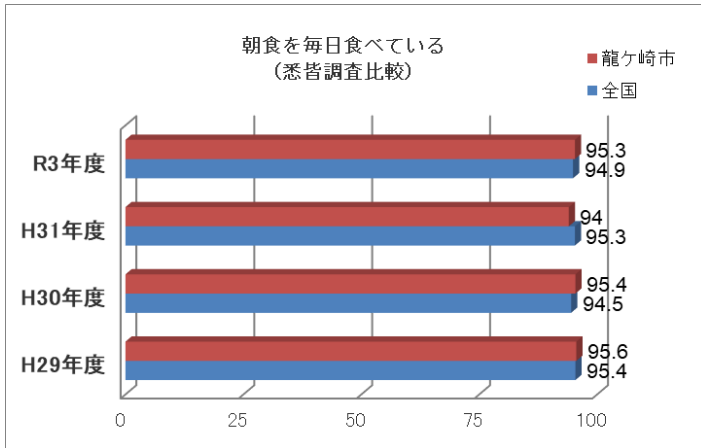
【令和3年度結果】

質問項目	小学校			中学校		
	龍ヶ崎市	茨城県	全国	龍ヶ崎市	茨城県	全国
朝食を毎日食べている	95.3%	95.4%	94.9%	93.0%	93.7%	92.8%
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	80.9%	83.4%	81.2%	77.2%	81.0%	79.8%
毎日、同じくらいの時刻に起きている	88.0%	91.6%	90.4%	93.2%	93.8%	92.7%

【経年データの比較】 (平成29～令和3年度の比較)

小学校

中学校



2 自尊感情に関する内容について

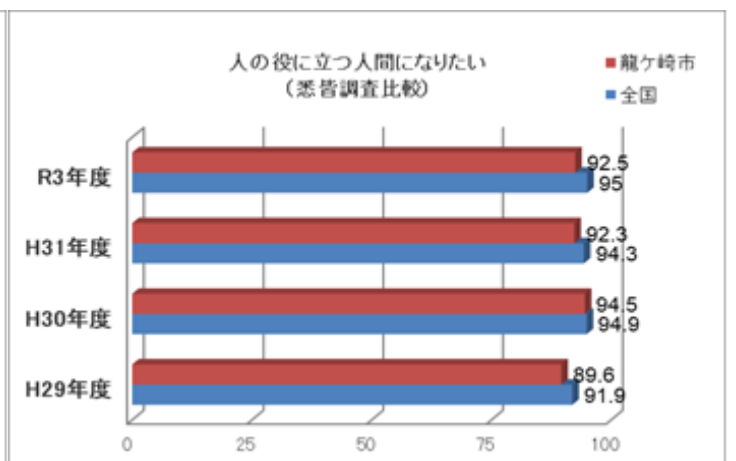
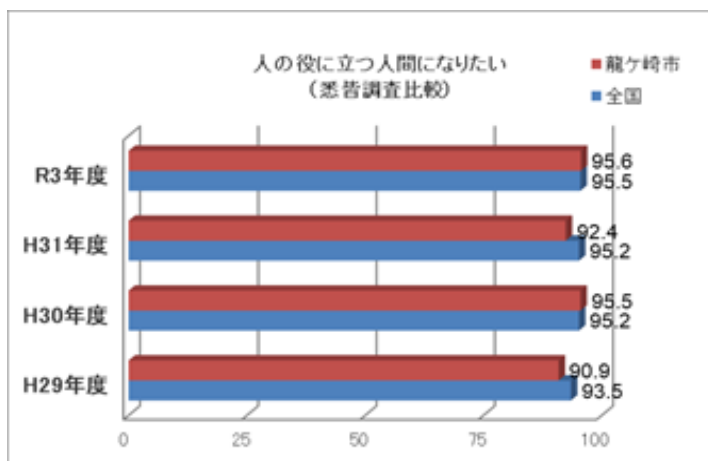
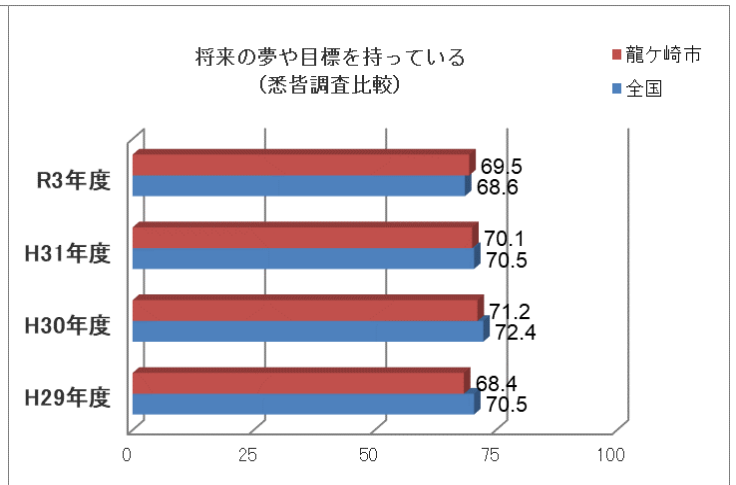
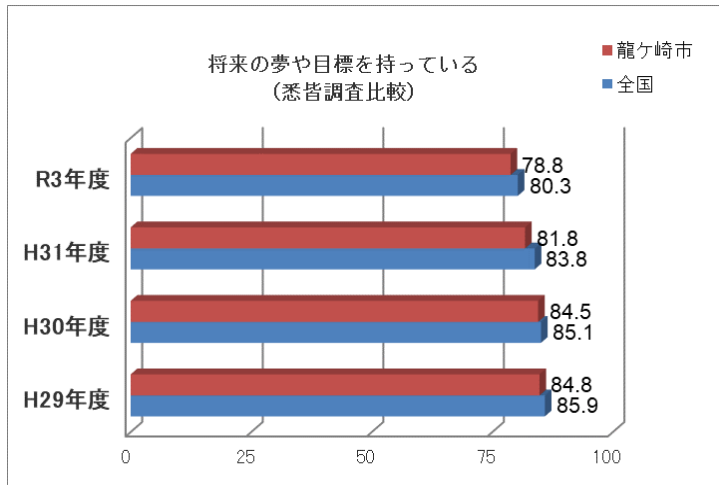
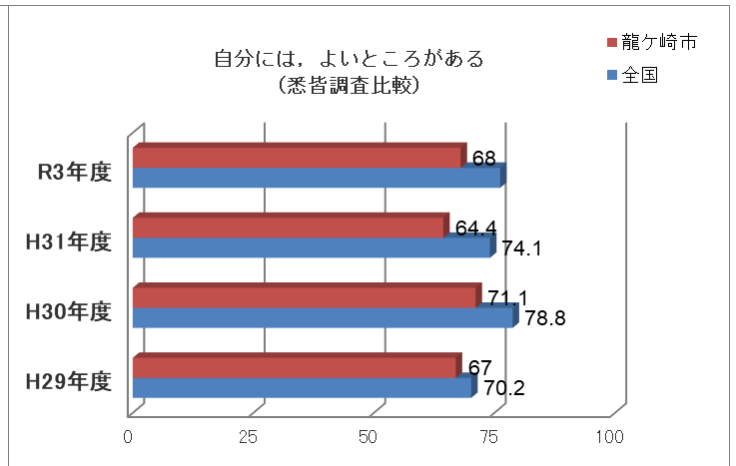
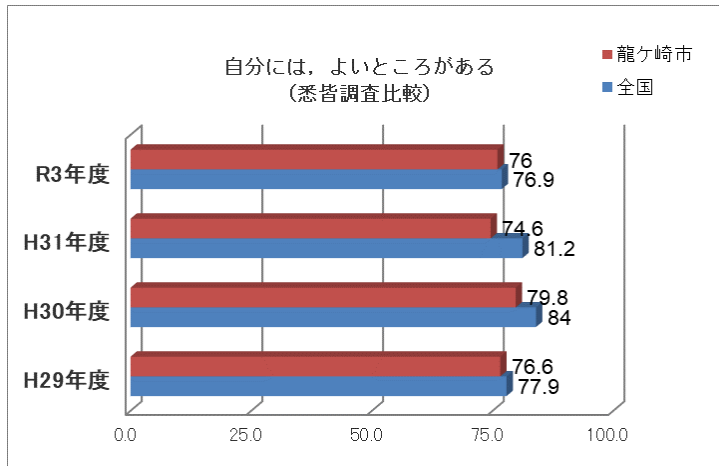
【令和3年度結果】

質問項目	小学校			中学校		
	龍ヶ崎市	茨城県	全国	龍ヶ崎市	茨城県	全国
自分には、よいところがある	76.0%	77.6%	76.9%	68.0%	74.4%	76.2%
将来の夢や目標を持っている	78.8%	83.5%	80.3%	69.5%	69.3%	68.6%
人の役に立つ人間になりたい	95.6%	95.9%	95.5%	92.5%	95.1%	95.0%

【経年データの比較】（平成29～令和3年度の比較）

小学校

中学校



3 規範意識に関する内容について

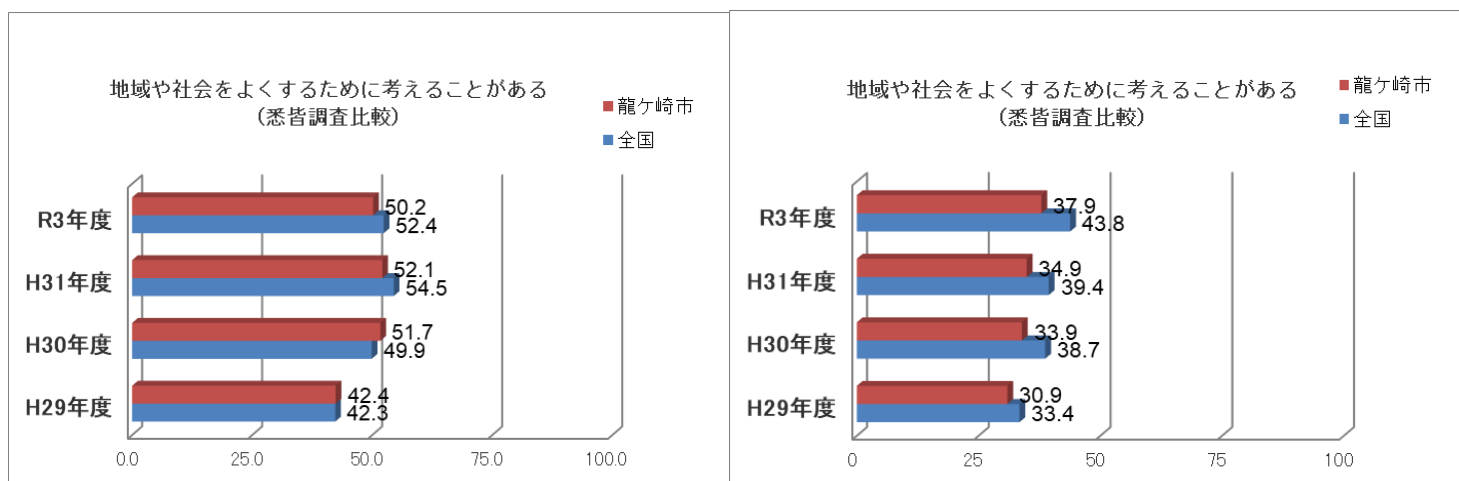
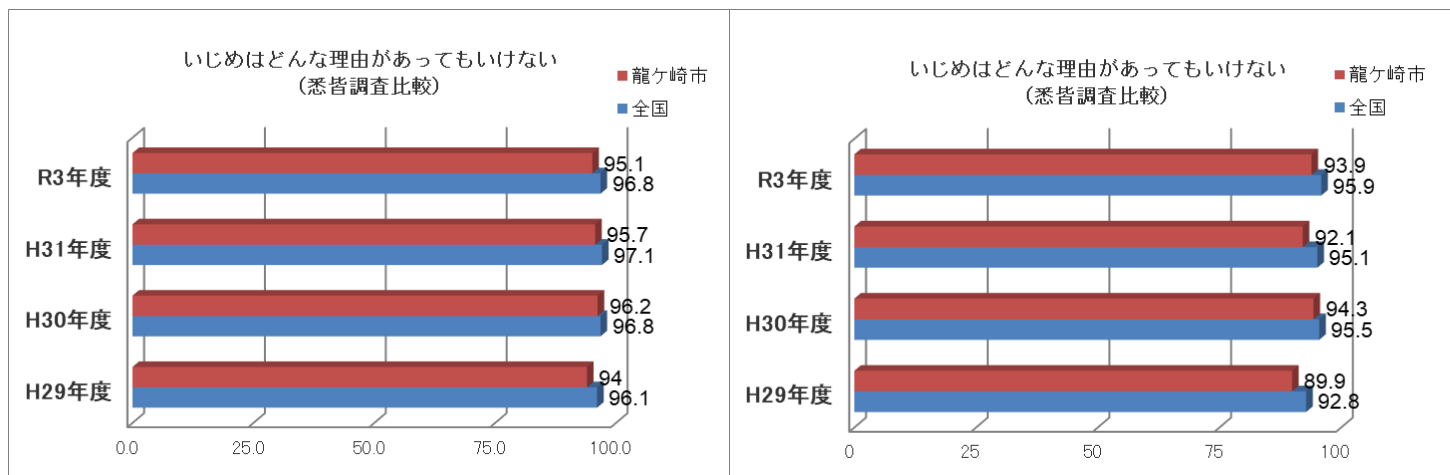
【令和3年度結果】

質問項目	小学校			中学校		
	龍ヶ崎市	茨城県	全国	龍ヶ崎市	茨城県	全国
いじめは、どんな理由であれいけない	95.1%	97.1%	96.8%	93.9%	96.1%	95.9%
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	50.2%	56.6%	52.4%	37.9%	46.5%	43.8%

【経年データの比較】（平成29～令和3年度の比較）

小学校

中学校



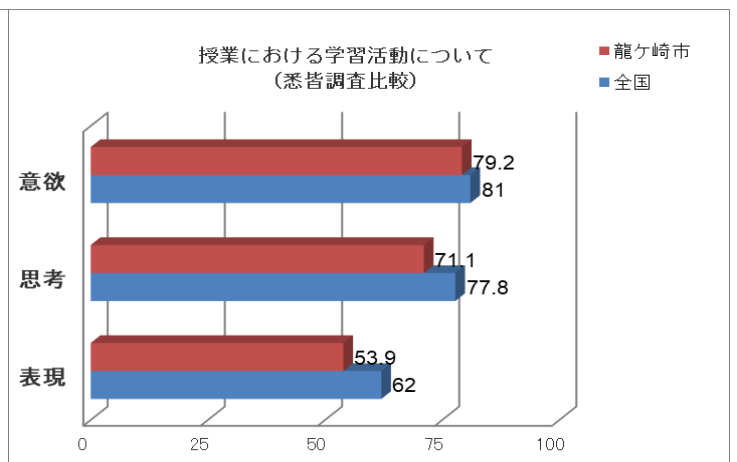
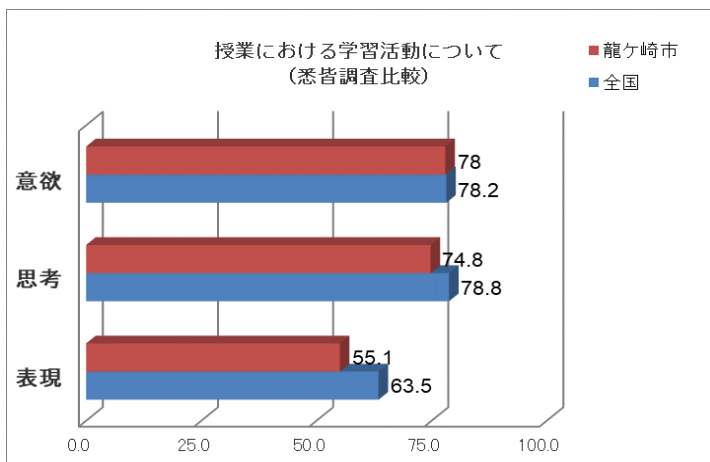
4 学習活動に関する内容について

【令和3年度結果】

質問項目	小学校			中学校		
	龍ヶ崎市	茨城県	全国	龍ヶ崎市	茨城県	全国
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる【意欲】	78.0%	80.0%	78.2%	79.2%	82.3%	81.0%
話し合う活動を通して、考えを深めたり、広げたりしている【思考】	74.8%	79.0%	78.8%	71.1%	77.2%	77.8%
自分の考えがうまく伝わるよう、話の組み立てなどを工夫して発表している【表現】	55.1%	61.8%	63.5%	53.9%	60.0%	62.0%

小学校

中学校



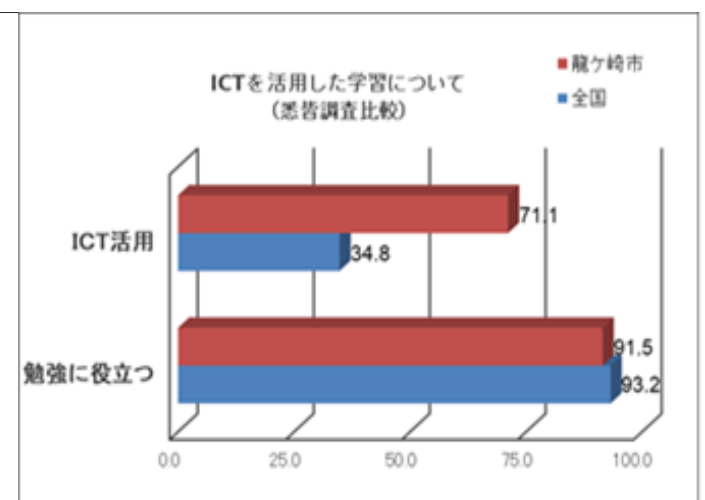
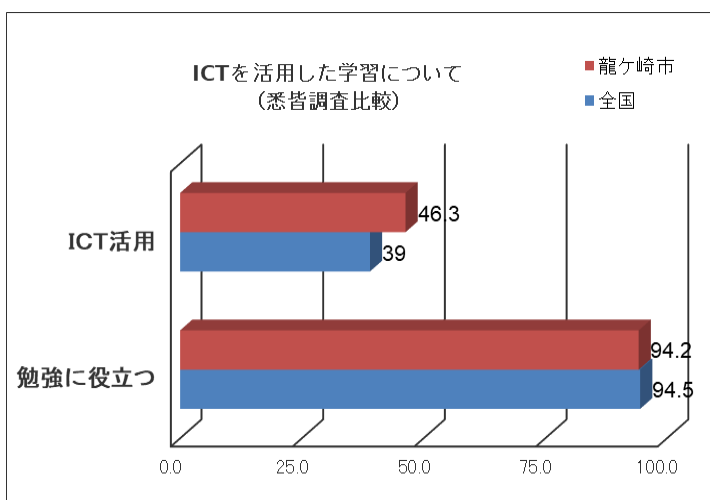
5 ICT を活用した学習活動に関する内容について

【令和3年度結果】

質問項目	小学校			中学校		
	龍ヶ崎市	茨城県	全国	龍ヶ崎市	茨城県	全国
学校では、コンピュータなどの ICT 機器を週 1 回以上使用している	46.3%	43.0%	39.3%	71.1%	39.9%	35.4%
学校の中でのコンピュータなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つ	94.2%	95.4%	94.5%	91.5%	94.2%	93.2%

小学校

中学校



6 家庭学習に関する内容について

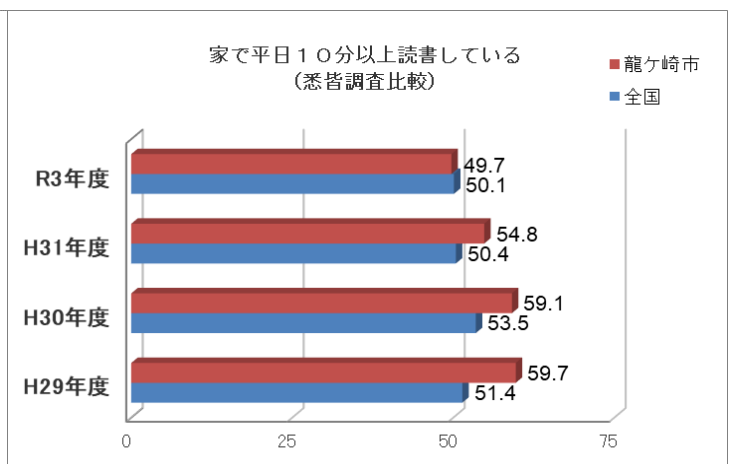
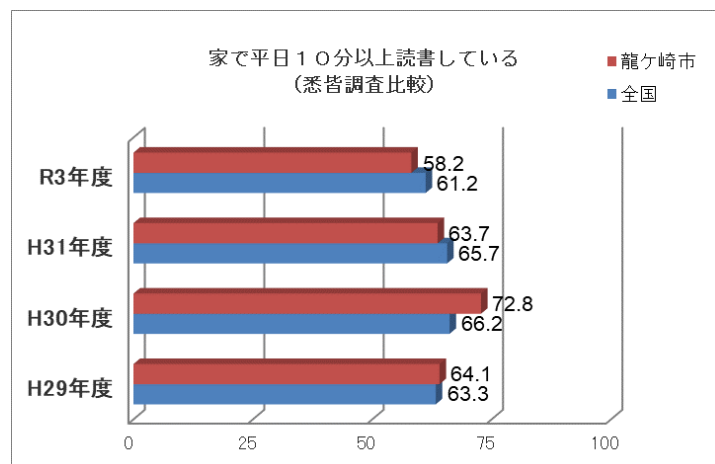
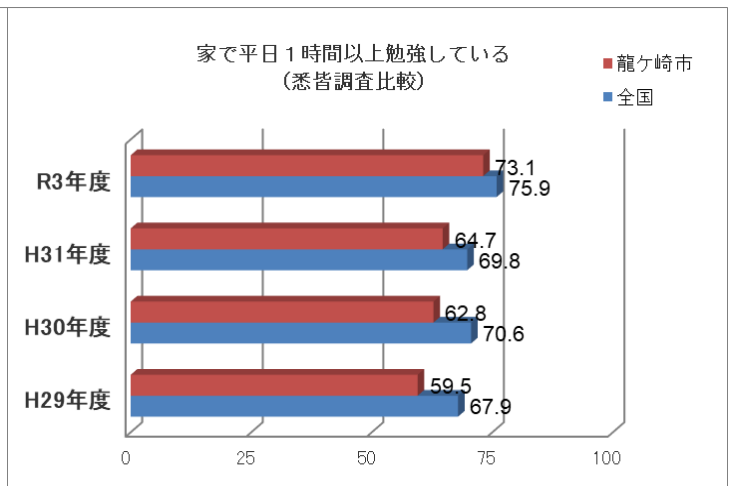
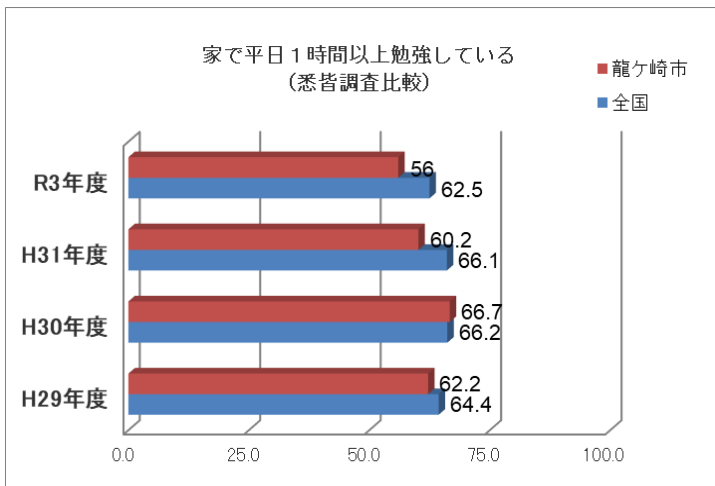
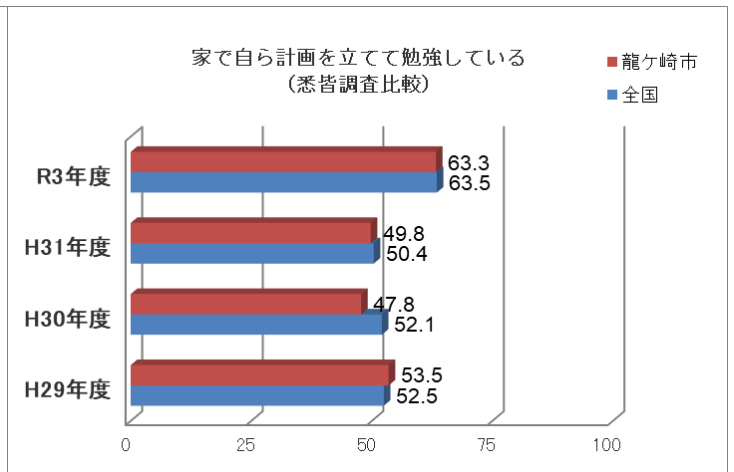
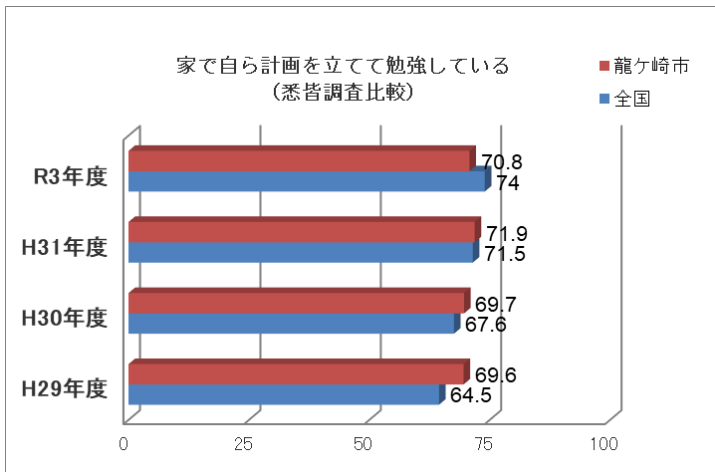
【令和3年度結果】

質問項目	小学校			中学校		
	龍ヶ崎市	茨城県	全国	龍ヶ崎市	茨城県	全国
家で自分で計画を立てて勉強をしている	70.8%	79.6%	74.0%	63.3%	68.5%	63.5%
学校以外で平日1時間以上勉強している	56.0%	66.0%	62.5%	73.1%	77.0%	75.9%
学校以外で平日10分以上読書している	58.2%	62.6%	61.2%	49.7%	53.6%	50.1%

【経年データの比較】（平成29～令和3年度の比較）

小学校

中学校



7 龍の子人づくり学習に関わる内容について

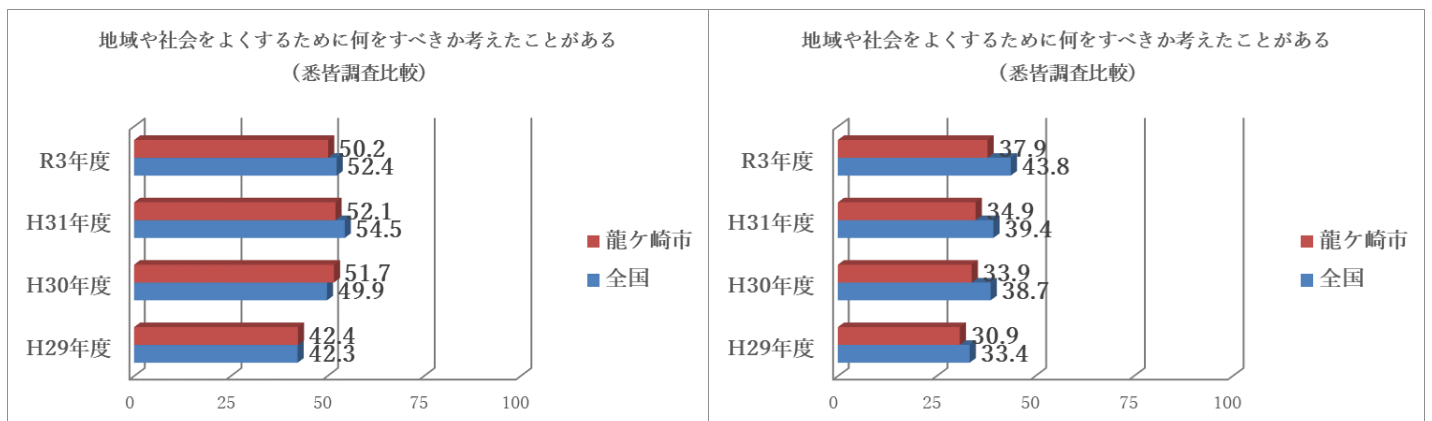
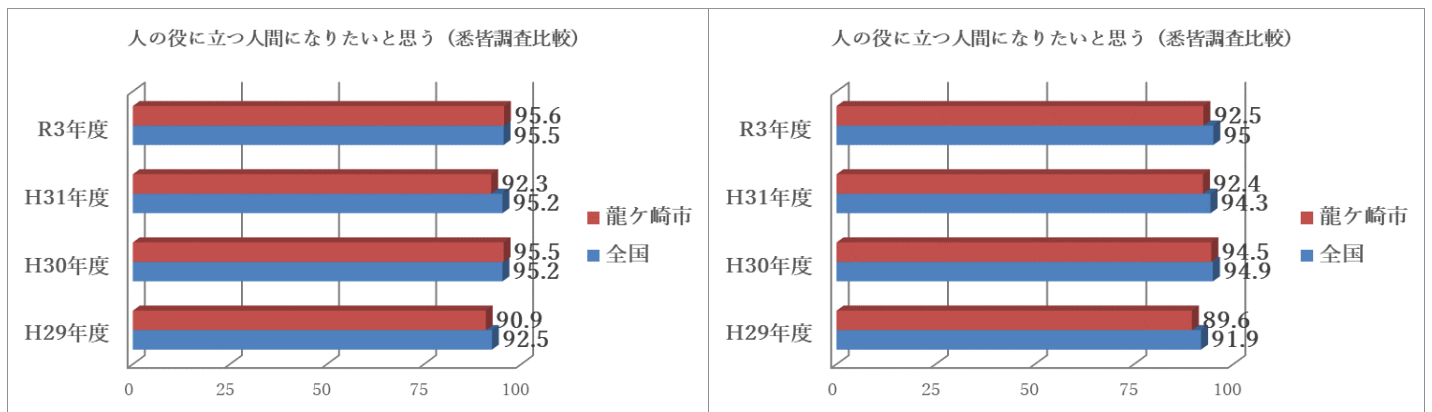
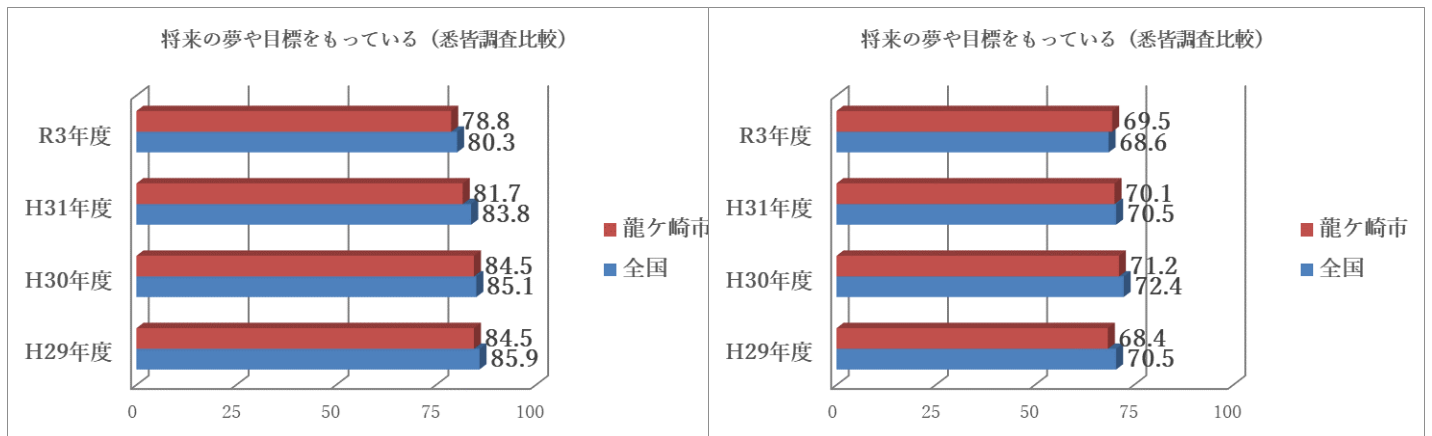
【令和3年度結果】

質問項目	小学校			中学校		
	龍ヶ崎市	茨城県	全国	龍ヶ崎市	茨城県	全国
将来の夢や目標を持っている	78.8%	83.5%	80.3%	69.5%	69.3%	68.6%
人の役に立つ人間になりたいと思う	95.6%	95.9%	95.5%	92.5%	95.1%	95.0%
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	50.2%	56.6%	52.4%	37.9%	46.5%	43.8%
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	69.8%	75.4%	73.4%	67.4%	78.1%	73.9%

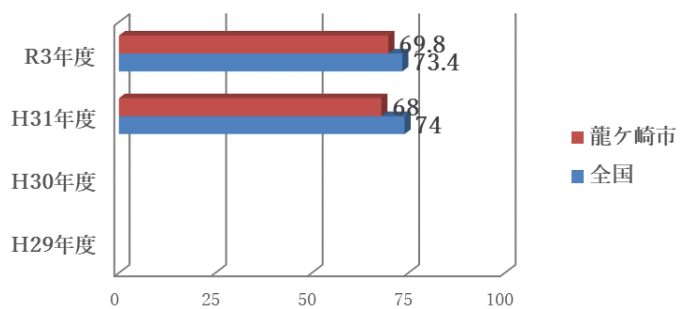
【経年データの比較】（平成29～令和3年度の比較）

小学校

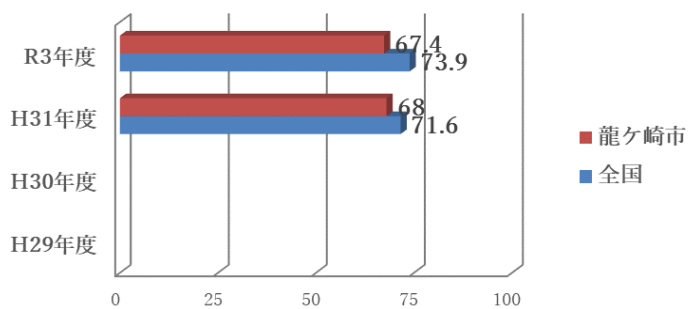
中学校



学級生活をよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている（悉皆調査比較）



学級生活をよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている（悉皆調査比較）



調査結果と今後の取組について ～学校・家庭・地域の力を合わせて～

1 望ましい生活習慣に関する内容について

(※P: ポイント)

令和3年度の調査では、朝食摂取率について小学校、中学校ともに全国を上回っています。本市では、食に関する専門家(栄養教諭等)を活用した授業が実施され、食に関する指導、朝食摂取を推進しています。学校だけでなく、家庭での朝食摂取の関心や理解が高いと考えます。起床や就寝時間については、全国と比べて不規則な様子が見られます。今後については、学校では学級活動の時間を利用して、自分の生活習慣を見直す機会を設け、健康的な生活習慣づくりに取り組んでまいります。

2 自尊感情に関する内容について

「自分のよさ」についての意識は、全国との比較においては下回っているものの、平成31年度の回答と比べると、小学校で+1.4P、中学校で+3.6Pと小中学校ともに上昇しています。また、「人の役に立つ人間になりたい」と回答した小学校の児童の割合は、平成31年度の回答と比べると、小学校で+3.2P、中学校で+0.2Pと上昇しています。子どもの自己肯定感を育むには、学校における教育活動を通して達成感や満足感を味わい、周りから認められるような活動を盛込んでいくことが大切です。また、学校だけでなく家庭や地域社会と連携し、子どもの思いに寄り添い、子どもが主役となって活躍できる場を多く設定し、その中で成功体験が得られるようにしていきたいです。

3 規範意識に関する内容について

いじめを許さない心情については、平成31年度の調査と比較して、小学校で0.6P下回り、中学校で1.8Pと上回りました。学校では、道徳教育を中心に学校の教育活動全体を通じて、全ての児童生徒がいじめを許さない気持ちを持ち、よりよい人間関係を構築できるよう、児童生徒が互いに認め合い、励まし合う集団づくりを推進いたします。また、地域や社会への関心を持ち、よりよい地域や社会の在り方について考えることは、規範意識の醸成と高揚のためにはとても重要です。今後も、学校・家庭・地域が協力し合って、子どもたちの社会性を育てていきたいと考えます。

4 学習活動に関する内容について

小中学校では、「主体的・対話的で深い学び」の視点をもった授業づくりが行われ、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる児童生徒が調査結果からも多く見られます。ペアやグループ活動で話し合い、自分の考えをたくさん発表できる機会を設けていますが、「自分の考えがうまく伝わるよう、話の組み立てを工夫しながら発表している」と回答した児童生徒は、全国と比べて低い傾向が見られます。小中学校ともに授業で話し合う活動だけにとどまらず、課題解決のために、資料から情報を集め、自分の考えを整理して発表する機会を積極的に取り入れていきたいと考えます。

5 ICTを活用した学習に関する内容について

児童生徒の授業でのICT機器の使用頻度は増加しており、「ICT機器を週1回以上使用している」と回答した児童の割合は、全国と比較すると小学校では+7.3P、中学校では+36.3Pと大幅に上回っています。また、「ICT機器を使用するのは勉強の役に立つ」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、90%を超える高い割合となりました。今後も児童生徒の情報活用能力を育ててまいります。

6 家庭学習に関する内容について

家庭学習については、小学校では、全国平均をわずかに下回っていますが、中学校では、平成31年度の結果と比較すると、計画的な学習については、+13.5P、平日1時間以上の学習については+8.9Pと大幅に上回りました。「家庭学習の手引き」が小中学校で共有され、家庭学習への意識が高まっています。今後も学校と家庭が連携し、家庭学習の定着が図られるよう努めてまいります。

7 龍の子人づくり学習に関わる内容について

「将来の夢や希望を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」と答えている児童生徒の割合が高く、令和2年度から取り組んでいる「龍の子人づくり学習」の取組が成果として表れています。今後、自分自身の特徴を知り、地域の一員として地域や社会、学級をよくするためには自分は何ができるかを意図的に教育活動に位置付け、「現在を担う 未来を拓く龍の子」の育成に努めます。